

令和6年度 児童発達支援評価表(保護者等向け)

公表:令和7年3月31日

事業所名:多機能型児童発達支援事業所 森の子

保護者数(児童数)8(8) 回答数7 割合88%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7				子どもが成長して大きくなってもとても広く活動スペースがおるので安心です。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	7				病気や産休で休まれる職員がおられても、職員の方々の工夫のおかげで心配することなく利用することができます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境*1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7				
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7				
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	7				
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から、子どもの支援に必要な項目が適切な選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7				
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7				
	⑧ 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	7				
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1		2	
	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	1			途中での変更がある場合は、必ずプリントを用意して下さるので助かります。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6	1			
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	7				
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7				送迎の際、子どもの様子や変化など気になることを必ず聞いてくれるのもやもやすることなく、利用できます。森の子ノートもとてもわかりやすく助かってます。
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7				

保護者への説明等	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	2	仕事をしているため、保護者会等は、参加していませんが発表会等で合うと他の保護者の方々よくお話しています。和やかな雰囲気です。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7			
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7			
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	1		
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	7			SNSなど顔出しNGIにしていますが、インスタやHPなどに写真を掲載する前に事前確認があり安心です。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6	1		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1	2	訓練についてはわかりませんが台風や積雪等の自然災害時は、早い段階で連絡をくださるので助かってます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	7			「明日、森の子イェーイ」ととても楽しみにしています。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	7			とても満足しています。森の子へ通えてよかったねと親子でよく話しています。

(注釈)

- *1「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること
- *2「児童発達支援」は児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- *3「活動プログラム」は事業所の日々の支援の中で、一定の目標を持って行われる個々の活動の事です。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- *3「ペアレントトレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者等の皆様へ)

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子様の保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

(その他ご意見などありましたら、下記にご記入お願い致します)